

GT-eSMART series

GT-ePower-T

取扱説明書

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください

2019.12.25 版



目次

はじめに	2
使用環境について	2
安全にご使用いただくために	2
GT-ePower-T について	3
GT-Power について	3
負荷特性	3
同梱品	4
各部名称	4
GT-ePower-T の取り付け方	4
注意事項	5
必要な工具	5
手動負荷を取り外す	5
GT-ePower-T を取り付ける	5
GT-eSMART シリーズの接続	6
トリマーポット	6
スピードセンサーの校正	7
ステータス LED	8

はじめに

このたびは、GROWTAC の製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。「GT-ePower-T」は、GT-Roller T1 専用の電子負荷ユニットです。「GT-eBox」と合わせてご使用いただくことで、GT-Roller T1 をスマートトレーナーとしてご使用いただけます。

安全に正しくご使用いただくため、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。本取扱説明書の内容並びに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

最新の情報は弊社ホームページ (<http://www.growtac.com>) をご確認ください。

使用環境について

右図を参考に安全な環境でご使用下さい。

【動作環境条件】

使用中の温度：0℃～+50℃

(結露のないこと)

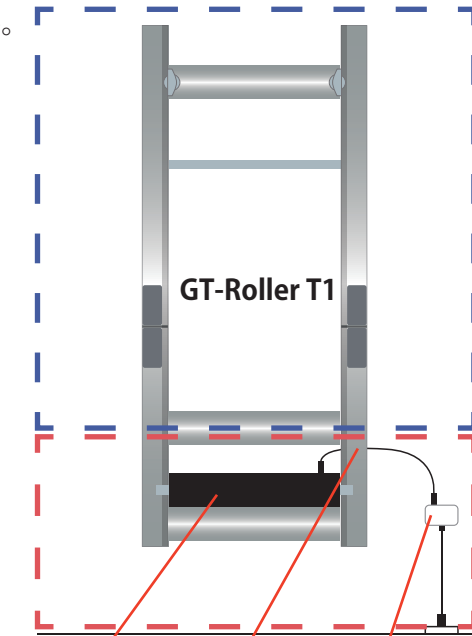


青枠内には、踏み台等の乗車に必要なもの以外、何も置かない

赤枠内には、接続に必要な物以外置かず、人やペット等を近づけない

※室内トレーナーを使用中にバランスを崩すと転倒し、怪我をするおそれがあります。怪我防止のためにヘルメット等の安全具の着用を推奨します。

※GT-eSMART シリーズ製品や GT-Roller 及び接続ケーブルに異常や破損等がないことを確認してからご使用ください。



通信ケーブルは挟まないように脚部分を避けて、フレームの下を通してください。

安全にご使用いただくために



室内トレーナーは、誤ったご使用をされますと**火災や事故**、故障や誤作動などによる**けが**の原因となることがあります。本取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。GT-eSMART シリーズをお使いの際は、本取扱説明書を確認できる状態にしておいてください。

- 異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。そのまま使用すると、誤作動による転倒や、火災・感電の原因となります。
- 本体やケーブルを踏むなどして破損した場合には、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。そのまま使用すると、誤作動による転倒や、火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、使用を中止し、電源ケーブルや通信ケーブル、本体にさわらない。感電の原因となります。
- 分解や改造をしない。誤作動による転倒や、火災・感電の原因となります。
- 磁石が内蔵されている製品や部品を、心臓ペースメーカーなどに近づけない。強力な磁石が心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えることがあります。
- 無線通信機器 (GT-eBox) を心臓ペースメーカーなどに近づけない。電波により心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えることがあります。
- 長期間使わないときは、電源ケーブルを抜く。火災や故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や、熱機器の近くなど高温になるところに置かない。火災や故障、製品の変形の原因となります。
- 本体及びケーブルに水や汗等を附着させない。防塵防滴ではないため、故障や誤作動の原因となります。
- 使用中及び使用直後の最後輪のローラーパイプと本製品には触れない。高温になっているため、火傷する恐れがあります。
- 最後輪のローラーパイプと取り付けた本製品の隙間に、指などを入れないでください。故障やけがの原因となります。
- 本マニュアルに従って作業を行わない場合には、故障やけがの原因となります。
- 安全な環境で使用しない場合には、製品の故障やけがの原因となります。
- 指定の機器やケーブルを使用しない場合には、誤作動や通信不良により、故障やけがの原因となります。
- 本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三のいかなる請求につきまして一切その責任を負いかねます。また、本製品より取得されたデータなどを利用した際に生じたお客様の損害、逸失利益につきましても一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

故障と思われる場合は support@growtac.com までご相談ください

GT-ePower-T について

GT-ePower-T は、GT-Roller-T1 をスマート化することにより、GT-eRemote やスマートトレーナー対応のサイクルコンピューターから細かな負荷調整を可能にし、独自アルゴリズムを用いて想定パワー値を測定する GT-Power（後述）の利用が可能です。

また、GT-eSMART シリーズであるスマートフォン専用アプリ「GT-eRemote」の各機能や、トレーニング系アプリに対応しています。作成されたトレーニングプログラムの再生等によって、効率の良いトレーニングを行うことができます。

負荷が重くなることにより、急激にホイールスピードが落ち、バランスが取れず落車する可能性がございます。バーチャルライド等を行う際は、十分に気を付けてご使用ください。

GT-Power について

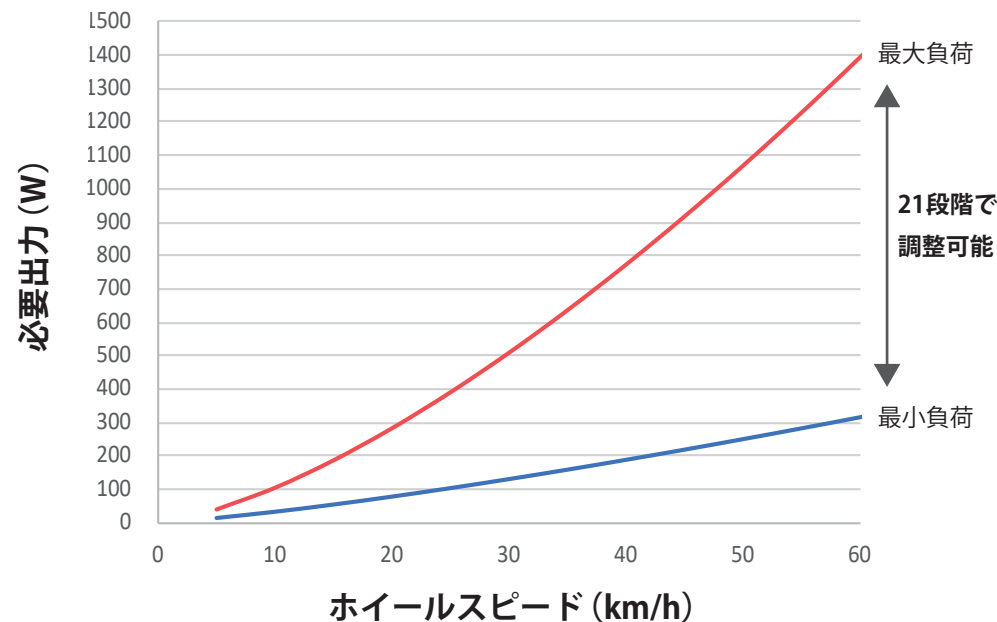
GT-Power は速度 / 負荷 / 体重 / 車重 / 室内環境などから独自アルゴリズムを用いて求める想定パワー値となります。この GT-Power を使用して、パートレーニングやバーチャルライドを行うことができます。

想定パワー値となるため、一般的なパワーメーター（クランク型やハブ型など）の値とは、異なることがあります。

GT-ePower-T をご使用いただく前に、スマートフォン専用アプリ「GT-eRemote」から校正を行う必要があります。また、校正を行うことにより、GT-Power の精度をより向上させることができます。

負荷特性（参考）

負荷特性は、温度等の室内環境や使用者の体重、タイヤ等の違いによって、変化します。

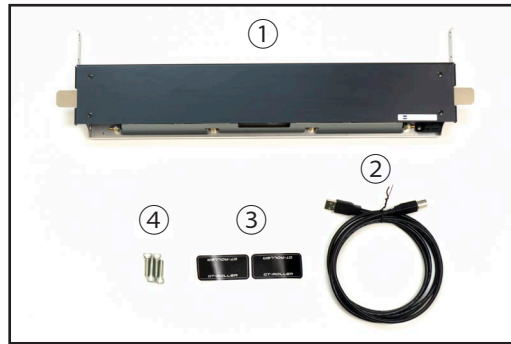


同梱品

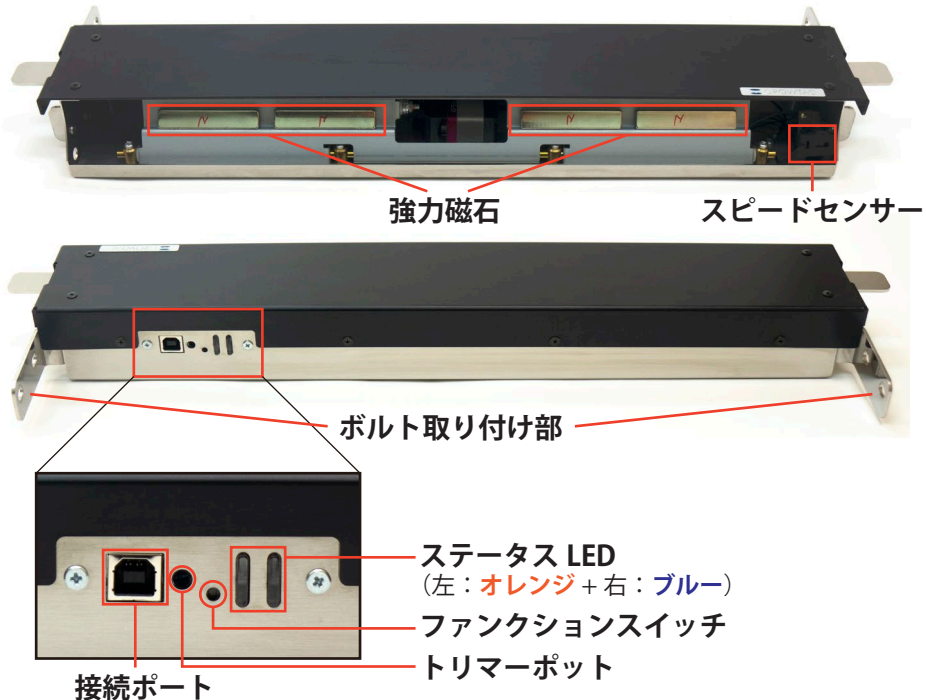
同梱品がそろっているかお確かめください。

※不足がある場合は、お手数ですが、support@growtac.com までご連絡ください。

- ①GT-ePower-T (本体) 1ヶ
- ②通信ケーブル 1本
- ③スピード検出シール 2枚
- ④六角穴付きボルト 4本
- ・取扱説明書 (本書)
- ・保証書



各部名称



GT-ePower-T の取り付け方

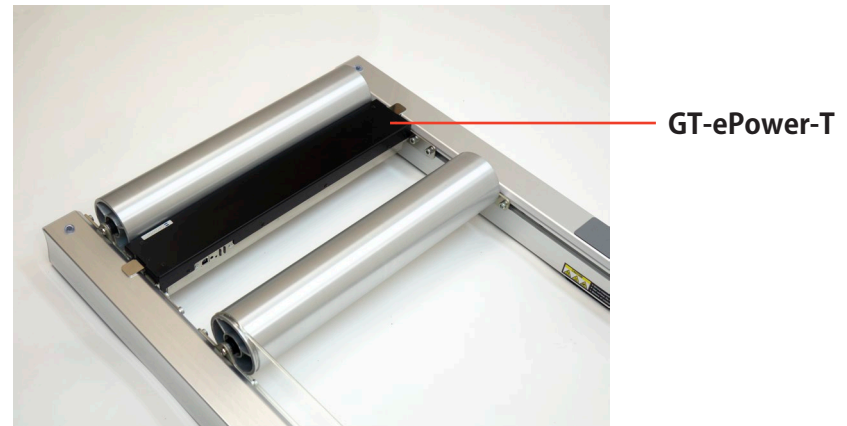
GT-ePower-T をお使いいただくためには、お持ちの GT-Roller T1 の手動負荷装置と交換する作業が必要となります。

GT-ePower-T の取り付け方に関する動画を、弊社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

交換前



交換後



注意事項

- ・製品の破損やけが等の可能性があるため、下記の注意事項を守り、取り付け手順に従って、安全に交換作業を行ってください。
- ・弊社は、工具の不具合による製品の破損、怪我等につきまして一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。また、交換作業による製品の破損は、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- ・手動負荷装置及び、電子負荷ユニットには、強力な磁石が内蔵されていますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- ・交換作業にご不明な点等がある場合は、support@growtac.com までお問い合わせください。

必要な工具

- ・5mm 六角棒スパナ（アーレンキー）
- ※六角ボルト穴に適合した工具をお使いください。
ネジ穴が変形するなどの不具合が生じることがあります。

手動負荷を取り外す

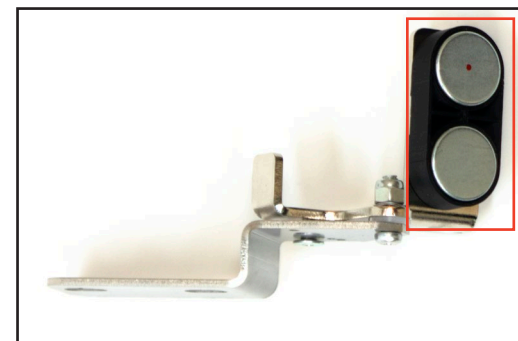
- ① 5mm 六角棒スパナ（アーレンキー）を使用して、手動負荷装置を固定している六角穴付きボルトを反時計回しに緩め、取り外します。



手動負荷装置の危険性について

手動負荷装置には、強力磁石がついております。
取り扱いには、十分ご注意ください。

強力な磁石が他の電子機器の動作に影響を与えることがあります。また、けがにつながる事故を引き起こす可能性があります。取り外した手動負荷装置は、GT-ePower-T の磁石部分を覆っていた緩衝材等で包み、安全な場所で保管してください。



GT-ePower-T を取り付ける

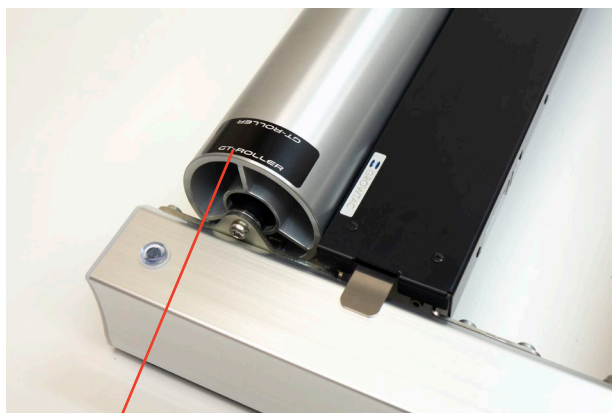
- ② GT-ePower-T を最後輪のローラーパイプ部分の手前に載せ、GT-ePower-T の取付金具と最後輪のローラーパイプの取付金具が突き当たるまで手で押します。



- ③GT-ePower-T を押さえつけたまま、六角穴付きボルトを、5mm 六角棒スパナ（アーレンキー）を使用して時計回りに締め、GT-ePower-T を固定します。 ※指定トルク 7N・m



- ④アルコールやパーツクリーナー等を使用し、ローラーパイプの表面の油汚れ等を落としてください。その後に、同梱されている速度検出シールを1枚、最後輪のローラーパイプのGT-ePower-Tの速度センサー側に貼ります。



速度検出シール

※ローラーパイプの端になるべくギリギリになるように貼付してください

GT-eSMART シリーズの接続

GT-eSMART シリーズをお使いいただくためには、GT-eBox を本ユニットに接続する必要があります。

接続方法につきましては、GT-eBox 取扱説明書をご参照ください。

トリマーポット

トリマーポットは、GT-ePower-T に内蔵されている強力磁石の位置を調整する機能を持っています。GT-ePower-T をご使用中に、**強力磁石とローラーパイプが接触する場合のみ、この機能を使用します。**

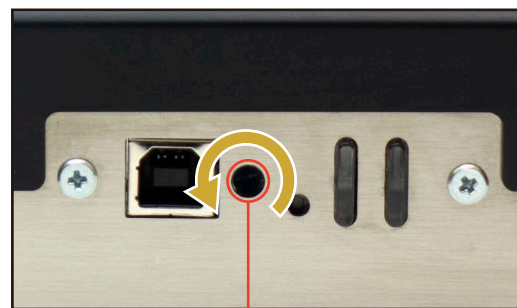
※接触している場合は、金属同士が擦れるような音がします。

調整方法

GT-eRemote のマニュアルモード、またはサイクルコンピューターのトレーナー制御機能を使用し、GT-ePower-T のResistance（負荷）を100%にします。

最後輪のローラーパイプを手で回しながら、ローラーパイプと強力磁石が接触しなくなるまで、プラスドライバー（#2）を使用してトリマーポットを半時計回りに少しずつまわしてください。

※GT-eRemote の使い方につきましては、GT-eRemote の取扱説明書をご確認ください。



トリマーポット

スピードセンサーの校正

GT-ePower-T をご使用いただく前に、スピードセンサーの校正を行う必要があります。スピードセンサーは、ローラーパイプ表面とスピード検出シール面の反射率の差からスピードを検出しています。

スピードセンサーの校正は、ローラーパイプ表面を基準面として測定した後、スピード検出シール面を測定します。

注意事項

GT-ePower-T 本体のセンサー部にホコリや汚れが付着している場合、スピードが正しく検出できないことがあります。

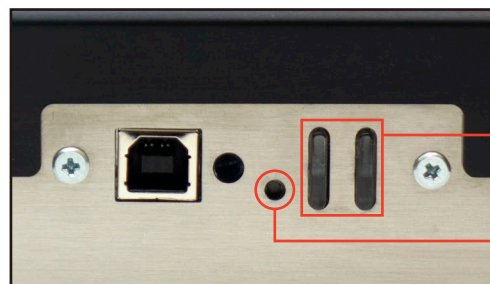
ローラーパイプ表面に汚れがない状態で校正を行っても、スピードが正しく検出されない場合には、スピードセンサー部の汚れを綿棒などでやさしく取り除いてください。

1. 校正モードにする

1-1 ファンクションスイッチを 2mm 六角棒スパナ (アーレンキー) 等でクリック感がするまで押しながら、GT-eBox の電源を投入します。

1-2 そのままファンクションスイッチを押し続けると、ステータス LED **オレンジ** が点灯した後に、ステータス LED **オレンジ** + **ブルー** が同時に 2 回点滅し、校正モードに入ります。

1-3 校正モードに入ったら、ファンクションスイッチを離します。



ステータス LED
(左: **オレンジ** + 右: **ブルー**)

ファンクションスイッチ

【注意】 先端の折れやすいものや先端の尖ったものでファンクションスイッチを押さないでください。また、強く押しすぎると電子基板が破損する可能性があります。

2. 基準面 (スピード検出シールが貼られていない面) の測定

ステータス LED **オレンジ** が点灯中は、基準面 (スピード検出シールが貼られていない面) の測定となります。

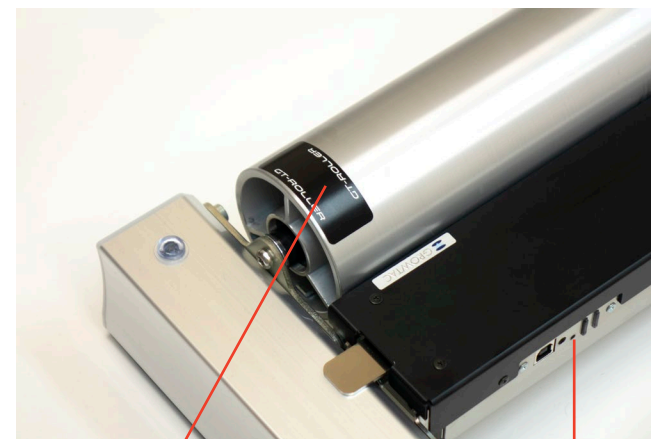
2-1 下図のように、ローラーパイプに貼られているスピード検出シールを上に向け、スピード検出シールがスピードセンサーに重ならないようにします。

2-2 ファンクションスイッチを押して基準面 (スピード検出シールが貼られていない面) を測定します。ファンクションスイッチを押すと、ステータス LED **ブルー** が点灯します。

※測定時は、ローラーパイプを動かさないください

2-3 ファンクションスイッチを離すとステータス LED **ブルー** が消灯するので、ローラーパイプを動かして基準面 (スピード検出シールが貼られていない面) を変更し、再度ファンクションスイッチを押して測定します。この手順をもう 1 度行います。

2-4 合計 3 回の測定を行うと基準面 (スピード検出シールが貼られていない面) の測定が完了し、ステータス LED **オレンジ** が消灯します。続いて、ステータス LED **ブルー** が点灯し、スピード検出シール面の測定に移ります。



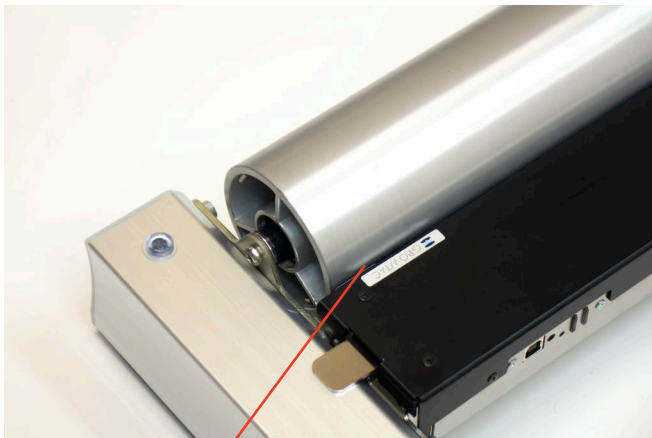
スピード検出シール

ファンクションスイッチ

3. スピード検出シール面の測定

ステータス LED **ブルー**が点灯中は、スピード検出シール面の測定となります。

- 3-1 下図のように、ローラーパイプに貼られているスピード検出シールの端と、GT-ePower-T の上端部を合わせて、スピード検出シールがスピードセンサーに重なるようにします。
- 3-2 ファンクションスイッチを押してスピード検出シール面を測定します。ファンクションスイッチを押すと、ステータス LED **オレンジ**が点灯します。
※測定時は、ローラーパイプを動かさないください
- 3-3 ファンクションスイッチを離すとステータス LED **オレンジ**が消灯するので、ローラーパイプを動かしてスピード検出シール面をずらし、再度ファンクションスイッチを押して測定します。この手順をもう1度行います。
- 3-4 合計3回の測定を行うとスピード検出シール面の測定が完了し、ステータス LED **ブルー**と**オレンジ**が2回点灯します。これでスピードセンサーの校正が完了し、校正モードが終了します。校正モード終了後にローラーパイプを回すと、スピード検出シール面に反応してステータス LED **ブルー**が点灯しますので、ご確認ください。

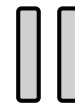


スピード検出シールを GT-ePower-T の上端部に合わせる

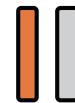
ステータス LED

ステータス LED から GT-ePower-T の状態を知ることができます。

【正常時のステータス LED パターン】



ステータス LED(**オレンジ** + **ブルー**) が消灯
→電源が入っていない状態



ステータス LED **オレンジ**が点灯
→電源が入っている状態 ※電源は通信ケーブルから供給されます



ステータス LED(**オレンジ** + **ブルー**) が点灯中
→負荷変更中

※校正モード中は、例外となります。

【異常時のステータス LED パターン】

点滅パターンが表示される前に、2つの両ステータス LED(**オレンジ** / **ブルー**) は一度消灯し、ステータス LED **オレンジ**が点滅します。



・ステータス LED **オレンジ**が2回点滅
GT-eBox との通信にエラーが発生しています。ケーブルがきちんと差し込まれていない、または他の通信機器と混線等している可能性があります。GT-eBox の電源を落とし、確認をしてください。



・ステータス LED **オレンジ**が3回点滅
GT-eBox と一定時間通信がありません。GT-eBox の電源を落とし、ケーブルがきちんと差し込まれているか確認をしてください。

その他の点灯・点滅パターンの場合は、support@growtac.com までご相談ください